

(様式1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦峯寺93-1

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋コンクリート造2階建
まんだら遊苑（地界）…鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
まんだら遊苑（天界）…鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界、陽の道、天界、闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊、鳴家、有馬家、善道坊、合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
57,010	64,621	63,884	72,272	70,128

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
6,916	9,746	9,436	10,909	10,550

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
－	－	－	－	－

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和7年度の入館者数は、前年度に比べ若干の減少となった。9月以降、まんだら遊苑等において熊の出没が確認されたことから、「まんだら遊苑」及び「遙望館」の臨時休館や閉館時間の繰り上げなどの安全対策を実施するとともに、集客イベントを中止せざるを得ない状況となった。

この結果、入館者数は70,128人となり令和6年度比で3%減(△4,298人)となった。

一方、「まんだら遊苑」の入館者数は29,599人で、近年、施設等の撮影が解禁され「映えスポット」としての人气が高まっていたため、10月以降の落ち込みがあったものの前年度比1.7%増(2,473人増)となった。

観覧料・使用料収入については、総入館者数の減少のとおり令和6年度比で3.3%減となった。

また、教算坊施設使用料収入については、令和5年度から実施している立山黒部貫光との連携企画「立山曼荼羅絵解きと食事を楽しむプレミアムバスツアー」の実施状況に大きく左右されることから、今後も同社との連携を一層深め、誘客促進に努めていきたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・展示館窓口で県の図録、友の会及び財団のグッズ等を販売した。
- ・インバウンドに対しては、タブレット端末等を利用した外国語通訳で対応していた。
- ・受付窓口にて立山黒部アルペンルートや県内市町村の観光パンフレット配布などの案内サービスを実施した。
- ・観覧料等の支払に二次元コードなどのキャッシュレス決済サービスを導入し、利便性向上を図った。
- ・高齢者や障害を持つ方のための介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格を有した職員を配置し、接客に当たっている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・主催イベント開催に併せ、立山博物館の魅力を広く発信するためのドローンを使用したPR動画を制作した。
- ・JAFアプリクーポンプレゼント企画に参加し、利用促進を図った。
- ・モンベルフレンドショップに施設を登録し、会員プレゼントなどの利用促進を図った。
- ・TV、ラジオ、動画配信サイトなどの番組製作に協力し、施設の魅力発信に努めた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：エントランスホールにアンケートボックスを設置
回答者数	521
結果	90%以上満足
結果を踏まえた改善事項	利用者には概ね満足いただいているが、今後も高い満足度を維持するため、おもてなしの心を持って丁寧に接客するよう職員を指導した。

②その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられたアンケート結果・意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有した。

③主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報管理する責任者が決められ、管理も適切にされている。

(6) 関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光などと連携し、施設のPRを行った。また立山黒部貫光が企画したプレミアムツアーについて教算坊内での開催に協力した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・非常時のマニュアルや緊急連絡表を作成(適宜更新)するとともに、防災訓練の実施や日常的に各種機器点検を実施した。
- ・熊、イノシシ被害防止対策(こまめな巡回など監視体制の強化、野外施設の草刈、忌避剤撒布、防獣ネット・熊撃退スプレー・夜間警報ライト・忌避用音響機器等の設置)を実施した。
- ・スズメバチ、蛇、コウモリ、カメムシ等の被害防止対策を実施した。
- ・スタッフの体調管理を徹底するとともに、万一感染症等の陽性者がした場合の連絡・支援体制を整えた。
- ・かもしか園周辺で多数の野生生物が確認されたため、害獣探知カメラを設置した。
- ・指定管理者において作成した熱中症への対応フローを職員に周知するなど、熱中症対策の強化を図った。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	12
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・令和5年9月、文化観光推進法に基づき「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」が認定された。この認定を契機として、県と連携しながら、点在する博物館施設の整備・保全や広報活動に取り組み、文化資源の活用による地域活性化の推進を図ってほしい。

本計画では、来館者数を令和4年度の6.5万人から令和9年度に9万人へ増加させることを目標としており、安心・安全で快適な環境の提供に加え、多彩な集客イベントの充実を通じて、着実な利用者増を目指してほしい。

・開館から30年以上が経過している。令和6年度は「まんだら遊苑」の防災設備の一部が故障した。嶋家、善道坊、合掌休憩舎の外壁、屋根などの老朽化が著しくなっていることから、施設点検の徹底と県への報告を密にし、被害やトラブルの未然防止に注力してほしい。